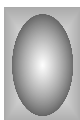


INFORMATION

最新の情報は生理学会ホームページをご覧ください (URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/psj/>)



理化学研究所

ポスドク・テクニカルスタッフ募集

理化学研究所内に新しく発足したマーフィー上級研究員室では、下記の要領でポスドクとテクニカルスタッフを募集します。当研究室では、行動学および神経科学的実験を用いて、報酬効果と薬物依存の研究を行っています。これら研究内容に興味を持ち、一緒に研究を進めてくれる研究者の応募を期待します。

応募資格：以下の実験技術のいずれかを習得している方を優遇します。

報酬効果に関する行動実験

脳定位固定手術

脳内微小透析法 (マイクロダイアリシス)

HPLC (電気化学検出器付)

K.O. マウスの繁殖管理 (RT-PCR 含む)。

ポスドク：神経科学関連分野で博士号を取得している方 (見込み可)。

テクニカルスタッフ：経験者優遇。未経験者でも意欲のある人は可。

着任時期：相談に応じます。

待遇：経験、能力を考慮の上、当所規定により優遇。社保完備。

応募書類：

- ・履歴書 (研究歴含む)
- ・論文リスト (ポスドクのみ)
- ・推薦者 (大学での指導教官など) 2名の連絡先電子メール、または郵送で受け取ります。書類選考後、面接により決定。適任者が決まり次第締めきります。

問合せ・書類送付先：

〒351 0198 埼玉県和光市広沢 2-1

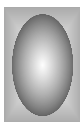
理化学研究所・脳科学総合研究センター

神経回路メカニズム研究グループ

マーフィー研究室 担当：山田清子

Tel : 048 467 7183 Fax : 048 467 7145

E-mail : kyamada@brain.riken.go.jp



第43回藤原賞受賞候補者ご推薦依頼

謹啓

いよいよご清栄のこととお慶び申し上げます。

財団法人藤原科学財団は、故藤原銀次郎翁が寄付された私財を基金として、昭和34年に創設されたものであります。わが国に国籍を有し、科学技術の発展に卓越した貢献をされた方に、昭和35年以来、藤原賞 (症状、賞牌および副賞) を

毎年贈呈してまいりました。賞は2件とし、副賞として各1千万円を贈呈しております。

今回引き続き第43回受賞候補者を募集いたします。つきましては、ご多忙中恐縮に存じますが、下記事項ご覧の上、適当な候補者をご推薦下さるようお願い申し上げます。

第43回選考委員は次の通りであります。

杉村 隆 (委員長), 近藤次郎, 植村泰忠,
松井正直, 西村 暹, 荒船次郎, 松本 智,
中井 武, 長澤寛道, 永井良三

(敬称略, 順不同)

敬 具

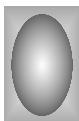
記

1. ご推薦の対象は, 自然科学分野に属するものとします.
2. 被推薦者は, 日本に国籍があり日本在住の方であれば, ほかに賞を受けられた方でも, また前に推薦された方でも結構です.
3. 被推薦者は原則として推薦題目1件につき1人とします.
4. 推薦要項書に, 必要事項を記入してお送り下さい.
なお, 参考資料として, 被推薦者の推薦題目と関係する主要論文10篇以内のリストおよび

別刷(3篇以内, コピーでも可)を各1部ずつ, 同封してお送り下さい.

この資料はご返却いたしませんので, ご了承願います.

5. 受賞者の決定は平成14年5月中旬とし, 贈呈式は同年6月中に行います.
6. 別に, 推薦要項書ご入用のときは, 当財団へご請求下さい. 早速お送りいたします.
7. **推薦要項書提出締切日**
平成14年1月31日(木曜日)
8. 推薦要項書送り先
〒104 0061 東京都中央区銀座3丁目7番12号
(王子不動産銀座ビル)
財団法人 藤原科学財団
TEL (03) 3561 7736 FAX (03) 3561 7860
9. 藤原科学財団ホームページ
<http://www.fujizai.or.jp>



第12回国際血管生物学会議 ご案内

XIIth International Vascular Biology Meeting (IVBM 2002)

記

本会議は, 分子生物学, 生理・生化学などの基礎研究から, 動脈硬化, 高血圧などの臨床研究や遺伝子治療の研究までを対象に発表論文を募集しています. 今回は12回目を迎え, 初めてアジアで開催いたします.

ご存知のように高齢化社会を迎え血管生物学は, 社会の最も重要な学問分野のひとつです. また, 遺伝子治療などの分野では目覚ましい発展を続け, 注目を集めています. 血管生物学は, 血管系を, 単なる血管輸送のパイプではなく生命体としての働きを支える重要な臓器, システム臓器として認識し研究する学問です.

本会議では, 血管新生, 血管再生, 血管細胞の系統発生, 血管遺伝子の転写調節, 細胞内情報伝達系, 血管病の遺伝子治療等を主要テーマとしたシンポジウムも多数予定, 会議期間中には日本血管生物学会も同時開催されます.

開催期間: 平成14年(2002年)5月12日(日曜日)~16日(木曜日)

開催場所: 軽井沢プリンスホテル

主催: 第12回国際血管生物学会議組織委員会

会長: 矢崎義雄(国立国際医療センター)

後援: 日本心臓財団, 他

使用言語: 英語

投稿方法: Web(UMIN)を利用したオンライン投稿です.

論文募集締め切り: 2002年1月15日

発表カテゴリー:

血管新生, 血管再生, 血管細胞の系統発生,
血管遺伝子の転写調節, 細胞内情報伝達系,
血管病の遺伝子治療等

登録料:

一般早期

2002年1月31日まで

25,000円

一般後期

2002年2月1日より当日まで 30,000円

発表者 20,000円

学生 20,000円

詳細は、Home Pageをご覧ください。

Home Page Address:

<http://square.umin.ac.jp/ivbm2002/>

お問い合わせ先：

第12回国際血管生物学会議事務局

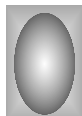
東京都千代田区平河町2 7 4

砂防会館別館 (株)アイシーエス企画内

電話：03(3263)6474

FAX：03(3263)7537

e-mail：ivbm@ics-inc.co.jp



第17回日本 Shock 学会

会 期：2002年5月11日(土)

会 場：

ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング

盛岡市盛岡駅前北通2 27

TEL(019)625 1211

会 長：

遠藤重厚(岩手医科大学医学部救急医学講座教授)

1. シンポジウム(公募,一部指定)

「敗血症性ショックの治療戦略」

2. 特別講演 未 定

3. 一般演題

ショックについて広く演題を募集致します。

4. サテライト講演

2002年5月10日(金)予定

演題締切：2002年1月31日(木)消印有効

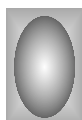
演題送付先：

〒020 8505 盛岡市内丸19 1

岩手医科大学医学部救急医学講座内

第17回日本 Shock 学会(担当：青木英彦)

TEL 019 651 5111 FAX 019 651 5151



千里ライフサイエンスセミナー

「自然免疫と獲得免疫のクロストーク」

日 時：平成14年1月29日(火)

10:00~17:00

場 所：千里ライフサイエンスセンタービル

5階ライフホール

主 催：財団法人千里ライフサイエンス振興財団

協 賛：株式会社千里ライフサイエンスセンター

コーディネーター

大阪大学微生物病研究所教授 審良静男

プログラム

1. IL-18の生物活性と疾患との関係

兵庫医科大学免疫学・医動物学講座教授

中西憲司

2. LPS認識におけるTLR4, RP105および介合

するMDタンパクの役割

東京大学医科学研究所

感染遺伝学分野教授 三宅健介

3. 自然免疫と獲得免疫をつなぐToll-like receptors

大阪大学微生物病研究所教授 審良静男

4. ウィルスが誘起するヒト樹状細胞の免疫応答とToll-like receptors

大阪府立成人病センター研究所所長

瀬谷 司

5. 自然免疫におけるToll-like receptor陽性T細胞の役割

名古屋大学大学院医学研究科附属

病態制御研究施設施設長 吉開泰信

6. 抗原提示細胞によるインターフェロン生産

と自然免疫の活性化

慶應義塾大学医学部微生物学・

免疫学教室教授 小安重夫

参加費（講演要旨集含む）：

3,000円（会員（大学・官公庁職員，財団の賛助
会員））；5,000円（非会員）；1,000円（学生）

定 員：300名

申込方法：

氏名，〒住所，勤務先，所属，電話及びFAX
番号明記の上，郵便，FAX又は電子メールで
下記宛にお申込ください。受付の通知を返送い

たしますので，そこに記載した振込先口座に参
加費をお振込ください。入金を確認した後，領
収書兼参加証を送付いたします。

申 込 先：

（財）千里ライフサイエンス振興財団セミナーQ2
係

〒560 0082 大阪府豊中市新千里東町1 4 2

千里ライフサイエンスセンタービル8F

TEL：06 6873 2001 FAX：06 6873 2002

E-mail：dnp-lsf@senri-ic.co.jp